




南丹市地域公共交通計画

計画策定の趣旨

-  南丹市は、JR山陰本線、園福線、京阪京都交通、南丹市営バス、ぐるりんバス、デマンドバス、民営タクシーなどにより、広域的な交通と身近な生活を支える交通が運行しています。
-  しかしながら、マイカーの普及や人口減少の進展、団塊世代の定年退職等により、公共交通の利用者数が減少しています。また、今後も人口減少や高齢化のさらなる進行が想定され、南丹市の経済活動や地域コミュニティ活動等の活力低下や、地域公共交通の維持・存続ができなくなることが懸念されています。
-  このような中、南丹市の地域公共交通の課題である「交通空白地対策」「高齢者の外出支援」「公共交通事業の維持・存続」等の解決、また、南丹市のまちづくりの最重要課題である「定住促進」に向け、持続可能かつ効率的で安定的な公共交通体系を構築し、人や環境にやさしい公共交通体系が充実し、誰もが外出しやすいまちの実現を目指すために、南丹市の地域公共交通のマスタープランとなる「南丹市地域公共交通計画」を策定しました。

計画の区域 南丹市全域

計画の期間 令和6(2024)年度～令和10(2028)年度の5年間

南丹市の公共交通の課題

現況調査やアンケート調査（住民と高校生）、地区ごとに開催した意見交換会、交通事業者等からの意見などを踏まえて、南丹市の地域公共交通の課題を、次のとおり整理しました。

1 都市拠点を中心とした公共交通サービスの充実



5 日常のお出かけ（買物、通院）のための公共交通サービスの確保

2 交通結節点での乗換機能の確保、案内の充実、待合環境、交流施設の充実

6 通勤通学の利便性確保、若い世代が利用したくなる公共交通づくり



3 観光交通と生活交通の共存、観光の利便性向上（外国人も迷わない公共交通づくり）



7 交通行動の意識改革（公共交通を使った移動への行動変容）

4 公共交通の認知度、理解度の向上

8 公共交通の担い手の確保








計画の基本方針









本計画では、南丹市の定住促進、住み続けたいまち・住んでみたいまちにふさわしい地域公共交通をつくりあげ、人や環境にやさしい公共交通体系が充実し、誰もが外出しやすいまちをめざします。

また、本計画の基本理念等を踏まえ、3つの基本方針を定めました。

南丹市の公共交通に 求められていること

-  都市拠点・交通拠点・目的地となる施設と周辺の居住エリアをつなぐ
-  広大な市域に点在している集落での外出をささえる
-  高齢者の安全安心な外出をささえる（暮らしの足の確保）
-  若年層（女性や子どもなど）の外出意欲をつくる
-  近年急増している観光客への対策を講じる

南丹市の公共交通の あり方

-  地域のつながりの維持・活性化を支える公共交通
-  健やかでいきいきとした暮らしを支える公共交通
-  ふるさとで学び続けることができる公共交通
-  豊かな自然と調和する公共交通
-  活力とにぎわいを促進する公共交通
-  安心して住み続けられる、安心して利用できる公共交通
-  いつでも快適に暮らすことができるための公共交通
-  効率的・効果的な運行を行う公共交通

基本理念

人や環境にやさしい公共交通体系が充実し、誰もが外出しやすいまちをめざす

方針

1 園部駅や八木駅周辺を中心としたコンパクトプラスネットワークをつくる

園部駅や八木駅を中心にして、コンパクトで住みやすい生活環境の創出を図りつつ（多極ネットワーク型コンパクトシティの実現）、賑わいや活力のあるまちづくりに向けて、住民の外出ニーズに応じて誰もが気軽に外出できるよう、ぐるりんバスやデマンドバスなどの運行内容を見直します。

方針

2 安心して快適に外出できる地域公共交通をつくる

市内のどこに住んでいても、日常生活に必要不可欠な外出については、最低限の移動サービスを受用できるような地域公共交通システム構築を目指します。例えば、中心部以外では、住民の外出先ニーズにあわせて、バスルートやダイヤの見直しを図るとともに（デマンドバス含む）、公共交通の乗継のスムーズさや、子どもの通学・帰宅のための地域公共交通サービスの確保など行います。

方針

3 みんなで支え愛着を育み持続可能な地域公共交通をつくる

南丹市の地域公共交通の維持や活性化に向けて、あらゆる主体がみんなで協働し、まちや地域公共交通を支えます。そのため啓発活動や利用促進活動は、ターゲットに応じてあらゆるツールを用いて根気よく継続的に実施していきます。また、関係者とのコミュニケーションを活発化させ、問題の早期発見・早期解決を目指します。

方針

1 園部駅や八木駅周辺を中心としたコンパクトプラスネットワークをつくる

施策① 京都中部総合医療センターの移転建替えを契機にした市全体の交通体系の見直し

- 市全体の交通体系の見直し

施策② 園部駅や八木駅のアクセス交通の充実

- ぐるりんバスの見直し
- JR遅延時のぐるりんバスとJRの連携
- 八木地区のデマンドバスの見直し
- 神吉線の運行空白時間帯でのデマンドバスの運行
- 新たな移動手段の導入

施策③ 公共交通のわかりやすさの向上

- 園部駅の公共交通サインの整備
- わかりやすいバス停の整備

施策④ 園部駅や八木駅の待合環境の向上

- 園部駅や園部駅周辺での待合環境の向上
- 八木駅の交通結節機能の強化及び待合環境の向上



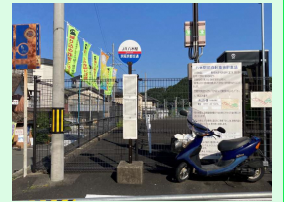
<園部駅のバス停>



<JR山陰本線>



<ぐるりんバス>



<八木駅の状況>

方針

2 安心して快適に外出できる地域公共交通をつくる

施策⑤ 南丹市営バスや園福線等その他路線バスのルート・ダイヤ等の見直し

- 商業施設や医療施設の敷地内でのバス停設置
- 南丹市営バスのルート・ダイヤ等の見直し
- 南丹市営バスの車内アナウンス・マイクの整備
- 園福線や京阪京都交通の路線の見直し



<中京交通>

施策⑥ 若者や子育て世代向けの利用環境の整備

- 子どもの通学・帰宅のための利便性向上
- 駅から学校までの街灯の整備
- デジタル化の導入等による利便性向上
- 子育て世代の利用促進に向けた環境整備



<京阪京都交通>



<南丹市営バス>

施策⑦ 日吉・美山地区の個別輸送の見直しや維持・確保

- 日吉デマンドバスのフリー乗降区間の拡大や運行ルート等の見直し
- 美山デマンドバスのルート固定型の見直し
- 日吉地区のタクシーの維持・確保に向けた連携

施策⑧ 公共交通での観光のしやすさ向上

- 日吉駅での観光客向けサービス機能の導入
- 観光客向けの交通情報提供の強化



<かやぶきの里>

3 みんなで支え愛着を育み持続可能な地域公共交通をつくる

施策⑨ モビリティ・マネジメントなどの利用促進活動

- 使いやすい地区別の総合時刻表・マップの発行
- ターゲットにあわせた利用促進活動の実施
- 公共交通の初心者講習会・体験会
- 行政職員向けのモビリティ・マネジメントの実施

施策⑩ 地域住民が主体となった利用促進活動の支援

- 地域主体の利用促進活動への支援
- マニュアルづくり、地域住民を対象とした勉強会の開催
- 地域住民などによる駅・バス停周辺の美化活動や見回り活動への支援

施策⑪ 公共交通に対する意見を収集する体制づくり

- 学生や地域住民とのワークショップ
- 交通事業者やドライバーとの定期的な意見交換会

施策⑫ ドライバー確保に向けた支援

- ドライバーの新規獲得に向けた支援

本計画の目標

本計画は、以下に示す評価指標と目標値を設定するとともに、自治体、交通事業者、道路管理者、警察、住民、企業等が一体となって、継続的に協議・調整できる体制をつくり、施策の進行管理や計画の評価・検証・見直し等を進めます。

